



「くるめっ子塾（無料学習支援塾）スタート!!」



青峰校区コミュニティセンターでの学習の様子

5月27日（水）にくるめっ子塾が青峰校区コミュニティセンターで開塾しました。

この塾は、高牟礼中学校に通学している生徒を対象に、基礎・基本の定着や学力アップ、居場所・友達づくりなどを目的に、本年度からモデル事業として実施しているものです。

指導は、市教育委員会が委託した講師の先生方約8名で実施しており、生徒4人1組を基本に講師を囲み、熱心に学習に取り組んでいます。

生徒は、学習のはじめに、その日の学習計画を講師と一緒に確認します。分からない問題があると質問し、自分の目標を達成できるように頑張ります。学習後は、その日の学習の成果を振り返ります。

今後、このモデル校の成果をふまえ、学力向上に向けた施策に反映したいと考えています。



得意科目は数学です。不得意科目は英語です。だから目標は、英語ができるようになることです。

【生徒の声から】



すでに英語の基礎ができていふいので、理解できるようがんばってほしい。

【保護者の声から】



説明を受けながら学習を進める姿

くるめっ子塾の概要

実施日：週2日（月曜日、水曜日）

時間：19時～21時

（10月以降は18時15分～20時15分）

内容：国語や数学、英語の3教科が中心

学校からの宿題や教科書・問題集などに沿って
自学自習を基本とし、個別指導を実施

健やかな体を育てます！～船越小の中休み～

各学校では、「健やかな体」の育成のために、1校1取組運動を行っています。

船越小学校では、業間活動の時間(中休み)に、年間活動計画に沿って縦割り班で、新体カテストや船越オリンピックの練習、固定施設検定や長なわとびの練習に子どもが主体的に取り組んでいます。子どもは、これらの活動を通して、体力づくりと人間関係づくりの大切さについて学んでいます。

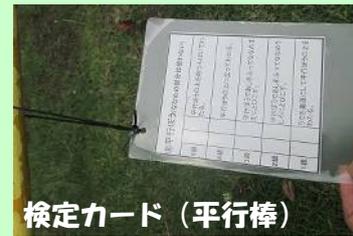
※「固定施設」

運動場にある登り棒や
平行棒、タイヤ等の遊具



※「業間活動」

月曜～金曜の 10:15～10:35 の
20 分間の休み時間の活動



※「縦割り班」

1年生～6年生でつくった班



豊かな心を育てます！～美術教育振興事業～

美術教育振興事業として、市内の中学1年生全員が「石橋美術館」を訪れます。この事業は市内の中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育むことを目的としています。

そのトップバッターとして田主丸中学校の生徒が6月3日(水)に特別展「パレットと自画像で探る画家の素顔」を見学しました。ボランティアの方に「作者はなぜ描いたのか、どのような気持ちだったのか、作者の経歴」など絵にまつわるお話を聞きながら、丁寧に見て回りました。生徒たちは教科書や資料集とはちがった本物の絵画の前で、静かに絵画の世界に浸ることができたようです。

久留米には石橋美術館のほかに、有馬記念館などすばらしい施設がたくさんあります。ぜひ、家族や友達と足を運んでください。

〈生徒の感想〉

青木繁さんの自画像はすごく迫力があって少しこわかったです。でも私はあの絵を好きになりました。坂本繁二郎さんの絵は、青木繁さんの絵と比べてやわらかい感じの絵だなと思いました。そして、年齢がかわるごとに、描く絵もかわっていておもしろいなと思いました。私はあまり美術館には行かないけれど、自画像はとても興味深く、どんなときに描いたのかを考えることもおもしろくていいことだなと思いました。久留米の人が描いた絵を見ると、画家のことを身近に感じられる気がしていいな、と思います。



ボランティアの方から説明を受ける様子

がんばっています!初任者研修!

初任者研修とは・・・

「初任者研修」という言葉をご存じでしょうか？

初任者研修とは、新規採用教員に対して、実践の指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させるため、各学校で学級や教科・科目を担当しながら行う実践的研修です。本年度は、83名の新規採用教員が、研修に取り組んでいます。初任者研修には、「校内における研修」と「校外における研修」があり、学習指導や学級経営、生徒指導、特別支援教育、人権・同和教育など、研修内容は多岐に渡ります。



市教育センターにおける研修

〔初任者研修の内訳〕

(1) 校内における研修

① 一般研修……………50～60時間

教員の一般的な職務遂行に必要な内容についての研修。

(例) 学級事務の円滑な進め方、基本的生活習慣の指導、学校行事の指導、児童・生徒の実態把握と教育相談など。

② 授業研修……………100～110時間

各教科等の学習指導法についての研修。

(例) 教材研究の進め方、発問や板書の基本、各教科の指導法、道徳の資料分析と発問、総合的な学習の時間の指導など。

③ 課題研修……………20時間以上(採用2年目に実施)

学習指導や学級経営など教育実践上の課題解決に向けて、各自でテーマを設定し、仮説・検証を行いながら、具体的な解決策を明らかにしていく研修。

(2) 校外における研修

① 市教育センター等における研修……………14日

初任者研修の様子

初任者研修が始まり、新規採用教員は、児童生徒に確かな学力、健やかな体、豊かな心をはぐくむために、熱心に研修に取り組んでいます。

右の写真は、代表授業者の公開授業をもとにした研修の様子です。実際に授業を参観し、授業後に行われた協議会では、よりよい授業にするために、熱い議論が繰り広げられました。



公開授業をもとにした研修

夏休み期間を1週間短縮します！！

3月までに市立小・中学校全ての普通教室に空調機の設置が完了し、夏場でも快適に学習できるようになったことを踏まえ、本年度から市立小中学校・特別支援学校の夏休み期間を1週間短縮し、2学期の始業式を8月25日とします。

夏休みを短縮することで、年間を通して、下図のような学校教育活動を充実させます。

Q 授業は午後も行われるの？

A 始業式の翌日（26日）からは、午後も授業を実施します。

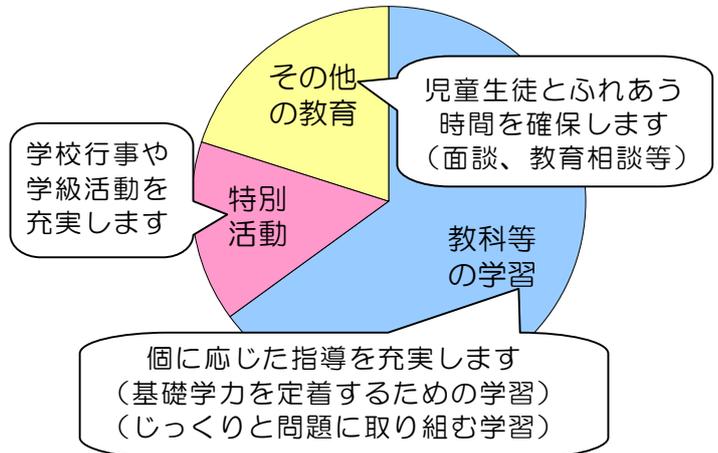
Q 給食は実施されるの？

A 始業式の翌日（26日）から通常通りの給食を実施します。

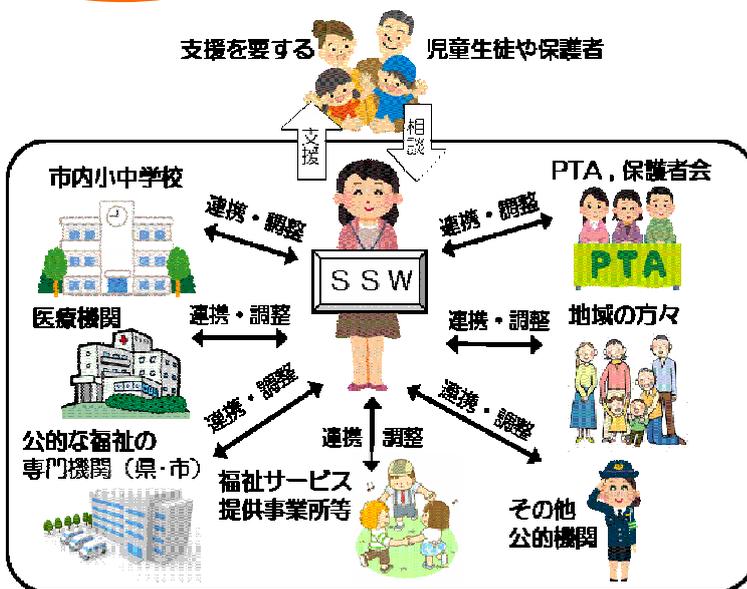
Q 教室は暑くないの？

A すべての普通教室に空調機を設置したので快適に授業を受けることができます。

※夏休み短縮の効果 イメージ図



通称 S S W スクールソーシャルワーカーを知っていますか？



スクールソーシャルワーカー（SSW）は、社会福祉士や精神保健福祉士という福祉に関する国家資格を持つ福祉の専門職員です。今年度、市教育委員会では、4人体制で業務を行っています。

SSWは、子どもがかかえる状況（家庭環境、不登校、学習及び発達・行動面の課題等）を改善していくために、学校と保護者、関係機関が協力して取り組んでいけるように支援を行います。

学校教育の更なる充実を目指して～次期教育改革プランの策定へ～

市教育委員会では、第1期及び第2期教育改革プランの取組と、学校教育の現状や課題を踏まえ、学校教育の更なる充実を目指し、次期教育改革プランの策定に取り組んでいます。

現在、プランの基盤となる「教育に関する大綱」の策定に向けて「総合教育会議」を開催し、市長と市教育委員会で議論を重ねています。

今後の次期教育改革プラン策定に向けて、大綱の内容を踏まえ、有識者や学校、PTA、関連団体等の代表者からも意見をいただきながら進めていきます。

